



HOSPITALITY

SATISFACTION

PARTNERSHIP

INNOVATION

TASK

LIFE

病院・診療所のみなさまへ

城陽江尻病院だより 2022 年 7 月号

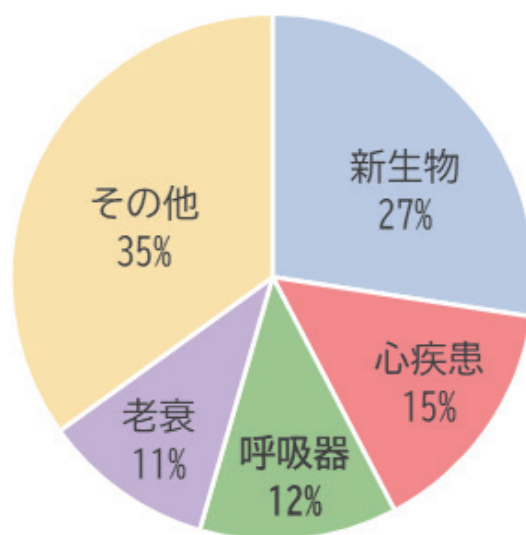
- 呼吸器疾患の診療体制がレベルアップしました
- 手指衛生を徹底してもらうために行った施策の効果やいかに？
ほか

病院・診療所のみなさまへ

いつも当院をご利用くださり、誠にありがとうございます。オミクロン株による第 6 波が長い小康状態を脱してようやく収束に向かうかと思えば、オミクロン株亜型による第 7 波がやってきました。面会の制限や出入口での厳格なトリアージを緩和するか否かなど、さまざまな判断に苦慮する状況かと推察いたしますが、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。当院の広報紙『城陽江尻病院だより』ですが、2022 年 7 月号ができあがりました。今号の特集は、「呼吸器疾患の診療体制がレベルアップしました」と「手指衛生を徹底してもらうために行った施策の効果やいかに？」となっております。ご一読いただければ幸いです。

呼吸器疾患の診療体制がレベルアップしました

高齢化社会の進んだ日本において、死亡総数に占める呼吸器疾患の割合は 12.2% となっており、死因としては新生物 (27.4%)、心疾患 (14.9%) に次いで 3 位であり、社会的な問題になっています (図)。



図：死亡総数に占める各死因の割合
(令和 3 年人口動態統計月報年計より作図)

当院では、2022 年 4 月より呼吸器内科を専門とする常勤医が 1 名加わり、より多くの呼吸器疾患に対応できるようになりました。呼吸器内視鏡検査を行う体制も整え、びまん性肺疾患に対する気管支肺胞洗浄や、慢性気道感染症の原因菌検索などを行うことができるようになりました。(写真)



写真：呼吸器内科を専門とする大西康貴医師が常勤医に加わり
ました(最右)。また、呼吸器内視鏡検査を行う体制を整えました。

検査にあたって鎮静薬を使用するか否かお尋ねするなど、なるべく患者さまに寄り添った診療を心がけています。息切れや咳嗽といった呼吸器症状があったり、胸部画像所見で異常が疑われたりした場合など、ご紹介いただけましたら幸いです。また、急な経過が予想される場合など、なるべく臨機応変に対応いたしますので、遠慮なくお問い合わせください。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

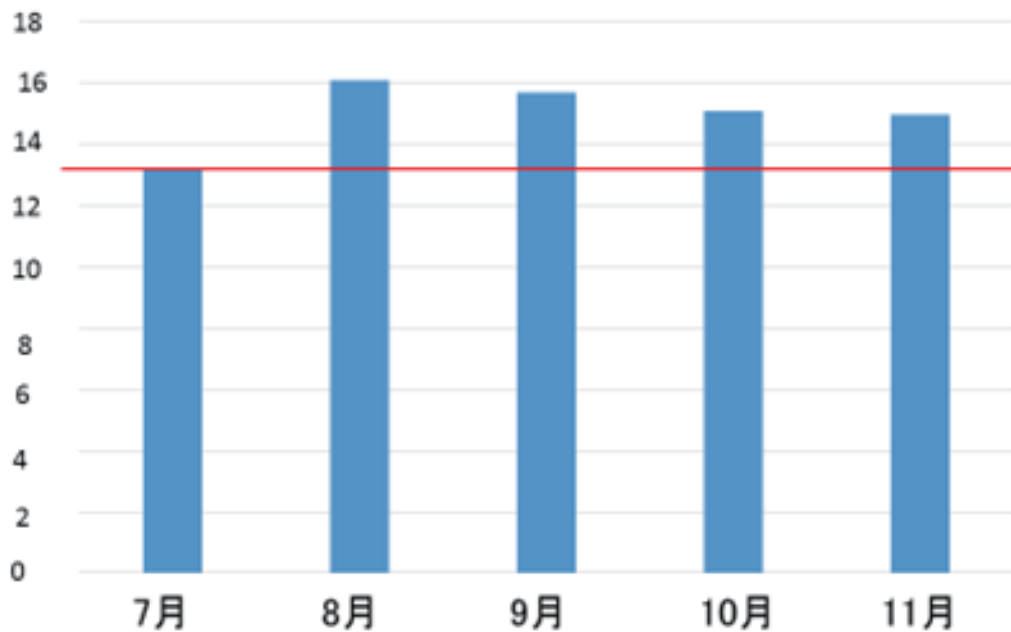
手指衛生を徹底してもらうために行った施策の効果やいかに？

スタッフに手指衛生を徹底してもらうことが大切なのは、コロナ禍以前からの常識です。しかし、非常に多忙であったり、新人で手指衛生を行うべきタイミングが分からなかったり、なかなか徹底してもらえないというものも多くの医療機関で常識になっているかもしれません。当院の3階東病棟では、コロナ禍を良い機会と捉えて、手指衛生を今まで以上に徹底してもらうための施策を行いましたので、ご紹介させていただきます。

方法ですが、当院3階東病棟所属の看護師21名を対象に、2021年7月～11月の間、以下の施策を行いました。

- ① 7月に手指衛生の必要性や適切なタイミングについての勉強会を実施
- ② 小テストを計6回実施
- ③ 検温で用いるワゴンに手指消毒剤を乗せているかどうかチェック
- ④ 手指衛生のタイミングが間違っているのを見かけるたびに、その場で指導
- ⑤ ①～④の効果を判定するため、手指消毒剤の使用量を調べるとともに、アンケートを実施

結果をお示しします。手指消毒剤の使用量は次ページのグラフのように推移しました。また、アンケートでは、21名中18名のスタッフが「手指衛生のタイミングについての理解度がアップしたことで、手指衛生をする回数が増えた」と回答しました。残りの3名は「理解度はアップしたが、回数は変化しなかった」と回答しました。回数が増えなかった理由としては、「手元に手指消毒剤がない」「急いでいる時にはつい省いてしまう」「意識づけ、習慣づけがまだ出来ていない」「手荒れしているから」などが挙がりました。



グラフ：手指消毒剤の使用量推移。縦軸は 1 日に患者さまひとりに使用した使用量の平均で、単位は ml。7 月に勉強会を実施。

今回の施策は、「手指衛生の理解度を上げれば、徹底してもらえるようになるのではないか」という仮説をもとに組み立てました。アンケート結果だけをみれば、ある程度立証されたようにも思えますが、手指消毒剤の使用量は大幅に増えたと言えず、また、5 か月という短期間の間に徐々に減ってしまいました。過去の同様の施策においても、やはり効果は一時的なことが多いため、今後も働きかけを続けるとともに、今回の「回数が変化しなかった理由」をはじめ、手指衛生の徹底をさまたげる要因への対策を検討していきたいと思います。

栄養管理全体研修



ベッドサイドにリスク表示



カーテンやベッドサイドに表示

2022年7月14日、栄養管理全体研修が開催されました。今回は、「正しい食事介助の方法について知ろう」「窒息・誤嚥に対する当院での取り組み」というタイトルの講義でした。病棟スタッフにとって毎日行う業務のひとつであり、いつもにも増して真剣に聴講しました。

消防訓練、七夕飾り



(写真左) 2022年6月22日消防訓練を行いました。災害時に適切な対応ができるよう、年に2回行っております。

(写真右) 今年も療養病棟で七夕飾りを行いました。皆さまの願いごとが叶いますように！

患者さまのご予約方法

入院・転院のご依頼
外来診療のご依頼
上部・下部消化管内視鏡のご依頼

- ➔ **079-225-1231**（地域連携課）にお電話ください。
- ➔ 担当医と調整の上、予約を入れさせていただきます。

CT・MRI・超音波・骨密度・マンモグラフィーのご依頼

- ➔ **079-225-1231**（放射線課）にお電話ください。

※ 受付時間は 8:30 ～ 19:00 となっております（日曜、祝日を除く）。

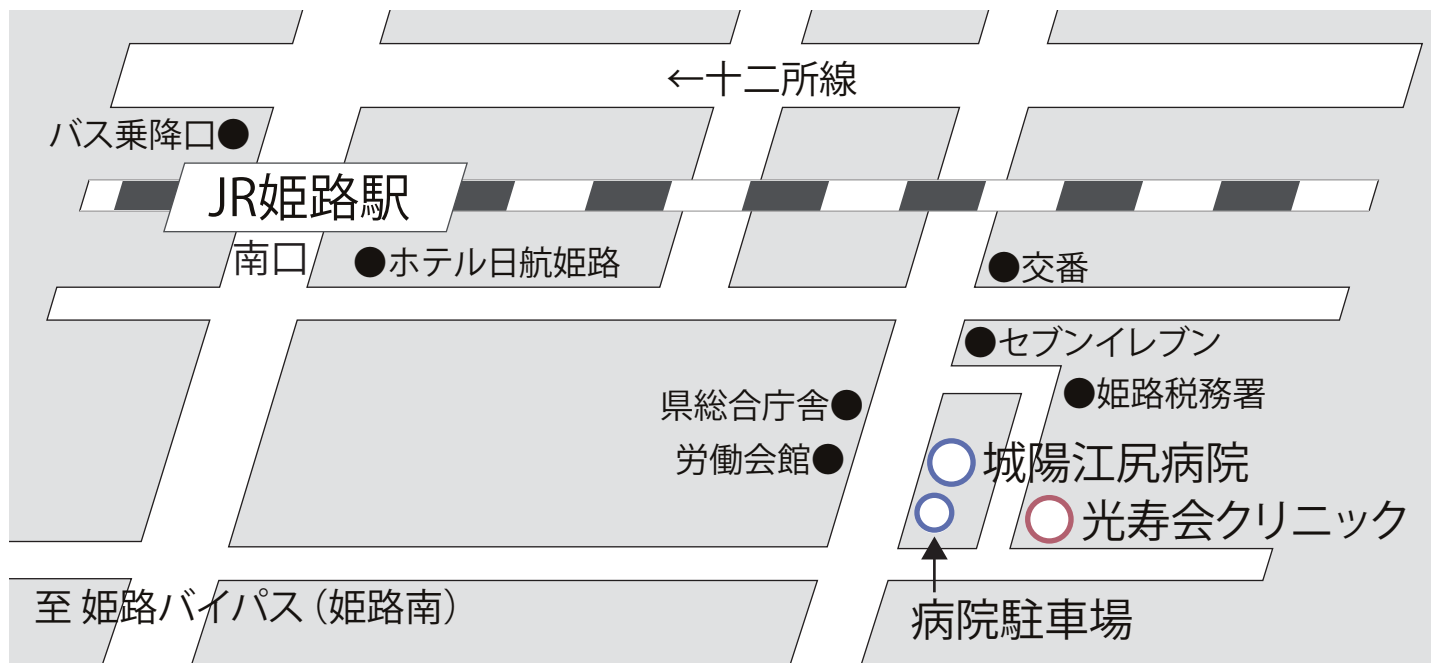
※ そのほかのお問い合わせは **079-225-12321**（地域連携課）にお電話ください。

ご予約後の流れ

患者さまに、以下のものをご持参いただくようお願いください。

貴院からの診療情報提供書（紹介状）
（CT・MRI をご依頼の場合は所見用紙）
健康保険証
当院受診歴のある方は、当院の診察券
（必要に応じて）貴院での血液検査結果、投薬情報

患者さまに、来院当日は1階総合受付にお越しいただくようお願いください。
スタッフがご案内いたします。



〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目279
 ホームページ：www.ejirihospital.or.jp
 代表 Tel：079-225-1231
 Fax：079-222-0154



EJIRI HOSPITAL
 城陽江尻病院